

# 出雲・全日本・いざ箱根へ!



## 第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走 結果

10月10日(月・祝)、第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走が、出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前(6区間/45.1km)で開催され、中央大学は2時間9分48秒で3位となりました。「時代を紡ぐ軌跡を残せ」をスローガンとして練習を積み重ねてきた本学の選手達が、秋の出雲路を力強く走る姿に、3年ぶりに応援が解禁となった沿道からも熱い視線が注がれました。

順位	大学名	総合成績	区間	距離	選手名(学部・学年)	記録
1	駒澤大学	2:08:32	1区	8.0km	吉居 大和(法3)	22'32" 区間1位
2	國學院大学	2:09:24	2区	5.8km	千守 倫央(商4)	15'41" 区間3位=区間新
3	<b>中央大学</b>	<b>2:09:48</b>	3区	8.5km	中野 翔太(法3)	24'12" 区間7位
4	青山学院大学	2:10:18	4区	6.2km	阿部 陽樹(文2)	18'16" 区間3位
5	順天堂大学	2:10:50	5区	6.4km	溜池 一太(文1)	19'14" 区間2位
6	創価大学	2:10:52	6区	10.2km	吉居 駿恭(法1)	29'53" 区間4位

### 藤原正和監督コメント

9大会ぶりに出雲駅伝に出場することができ、再び出雲の地で「C」の文字を胸に走れましたことをまずは感謝申し上げます。久しぶりの出場ということもあり、スタッフも選手も不慣れなことが多い大会でしたが、地元鳥根県支部をはじめ広島・愛媛各支部からのご支援のおかげで3位という結果に結び付けることができました。

1区にはエースの吉居大和を配置し、出遅れることなく先頭で襷を渡すことができ、2区の千守は順位こそ落としたものの区間新記録をマークし見事な活躍を見せました。3区の中野翔太は各校のエース達と渡り合い役割をきちんと果たしてくれました。4区の阿部陽樹、5区の溜池一太共に向かい風に負けぬ快走を見せてくれ、アンカー吉居駿恭は1年生らしく躍動してくれました。久しぶりの参加ということもあり、一番レースを楽しんだチームになろうと声かけをしていましたが、十分に達成してくれたのではないかと思います。

また来年も出雲へ行き、優勝を勝ち取れるよう、1年間力を付けていきたいと思います。

▼第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走 写真提供：月刊陸上競技



## 秩父宮賜杯 第54回全日本大学駅伝対校選手権大会 結果

11月6日(日)、秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会が、名古屋・熱田神宮～伊勢神宮内宮宇治橋前(8区間/106.8km)で開催されました。2大会連続29回目の出場となった中央大学は5時間13分03秒で7位となり、上位8チームに与えられるシード権を獲得しました。

順位	大学名	総合成績	区間	距離	選手名(学部・学年)	記録
1	駒澤大学	5:06:47	1区	9.5km	千守 倫央(商4)	27'13" 区間3位
2	國學院大學	5:10:08	2区	11.1km	山平 怜生(法2)	32'58" 区間11位
3	青山学院大学	5:10:45	3区	11.9km	吉居 駿恭(法1)	34'21" 区間8位
4	順天堂大学	5:10:46	4区	11.8km	中澤 雄大(経4)	34'37" 区間8位
5	創価大学	5:12:10	5区	12.4km	若林 陽大(法4)	36'36" 区間6位
6	早稲田大学	5:12:53	6区	12.8km	吉居 大和(法3)	37'01" 区間1位=区間新
7	<b>中央大学</b>	<b>5:13:03</b>	7区	17.6km	湯浅 仁(経3)	51'39" 区間10位
8	東洋大学	5:13:10	8区	19.7km	阿部 陽樹(文2)	58'38" 区間8位

### 藤原正和監督コメント

出雲駅伝で勢いをつけ、全日本でも3位表彰台を視野に優勝にチャレンジしようという雰囲気がチームにあった中、優勝を目指すにはもう一段上の力を付けることをどこかでやらねばならないと練習で負荷をかけ今大会に挑みました。結果は7位ということでシード権は確保できましたが、上位校へのチャレンジは出来ず悔しい駅伝となりました。

Wエースである吉居大和中野翔太が不調で使えないことも考えられた中、吉居は直前で使える目処が立ち、駅伝を安定させてくれました。厳しい状況を支えてくれたのは4年生達であり、やはり学生スポーツは4年生で変わると実感させてくれました。厳しい中でしたが、山平怜生を新たに駅伝デビューさせることができ、チームにプラスの要素もあります。また簡単には崩れないチーム力を確認でき、泥臭いレースもできると証明してくれたことは、選手の努力の賜物です。

箱根駅伝では取りこぼしの無いよう、私自身が気を引き締め直し、戦って参ります。

## いざ箱根駅伝へ！第99回東京箱根間往復大学駅伝競走

■東京・読売新聞社前～箱根芦ノ湖間往路5区間(107.5km)、復路5区間(109.6km)の合計10区間(217.1km)で競う

■往路：2023年1月2日(月) 復路：2023年1月3日(火) (往路、復路とも午前8:00スタート)

### 藤原正和監督コメント

第99回箱根駅伝に向けて、チーム内での選考が佳境を迎えています。

吉居大和クラスの選手を5人育成することを期初から意識しチームを強化してきた中で、中野翔太や吉居駿恭、阿部陽樹、湯浅仁は最早代えの効かない選手と言えます。主将の若林陽大をはじめ、副将の中澤雄大、復調した千守倫央と4年生も充実しています。1年生も元気がよく、溜池一太や白川陽大、伊東夢翔など期待の持てる選手が非常に多いチームになってきました。

3位以内を獲得できるよう、全員駅伝で頑張って参ります。



▲第98回東京箱根間往復大学駅伝競走

▼第54回全日本大学駅伝 写真提供：「中大スポーツ」新聞部

